

暮らし創造研究会について

- 暮らし創造研究会は、暮らしにおける「健康・快適」「安全・安心」「省エネ・省CO2」を推進するための適切な設備と暮らし方を研究し、その成果の普及を図ることが目的。
- 健康・快適な暖房利用方法の追求をテーマとする「**暖房の健康影響研究部会**」で研究を実施し、この研究において断熱性能、床暖房の健康への効能を確認。
- 「**暖房の健康影響研究部会**」での研究を、**慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 伊香賀俊治研究室、積水ハウス株式会社 総合住宅研究所、一般社団法人日本ガス協会の3者で共同して実施。**

暮らし創造研究会

参加メンバー

【幹事】

- 村上 周三 建築環境・省エネルギー機構 理事長
- 中上 英俊 住環境計画研究所 代表取締役会長
- 井上 俊之 ベターリビング 理事長

【参加団体】

- 住宅生産団体連合会
- 不動産協会
- JBN・全国工務店協会
- 北ソングアメティ協会
- 高齢者住宅協会
- 物件・バス工業会
- 建築開口部協会
- 日本ガス石油機器工業会

【オブザーバー】

- 厚生労働省（高齢者支援課）
- 経済産業省（省エネルギー課）
- 国土交通省（安心居住推進課、住宅生産課）
- 環境省（地球温暖化対策課）
- 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会

研究部会

暖房の健康影響研究部会

主査：**慶應義塾大学 伊香賀 教授**

テーマ：健康・快適な暖房利用方法の追求

ストック住宅の省エネ化推進手法研究部会

効果・効能研究部会

暮らしの意識・行動研究部会

超高齢社会の居住環境研究部会

積水ハウス

(テーマに基づく実物件の
選定・実測等での協力)

事務局（日本ガス体エネルギー普及促進協議会）

※日本LPガス団体協議会、日本コミュニティーガス協会、**日本ガス協会**で構成